

## サービック第二事業所営業二科の 要員不足を早急に解消せよ！

サービック新大阪第二事業所営業二科（車いすなどの介助）は、現在、退職などにより大幅な要員不足になっています。

サービック本社は、営業二科の基準人員を明らかにしませんが、6名ほど不足していると思われます。

営業二科の要員不足が解消されないと、4月以降の勤務を組むのも厳しくなり、社員の年休発給にも影響が出てきます。

現在は、管理者による休日出勤で対応していますが、これもあくまでもその場しのぎです。

## 直ちに要員を確保せよ！

J R 東海労新幹線関西地本は、サービック本社に対して、第二事業所営業二科の要員不足を直ちに解消することを要請しました。

地本は、一刻も早い要員確保が求められている状況から、本社に対して口頭で申し伝えました。

地本は、「要員を確保せよ！」と言うだけでなく、以下のように具体的に要員確保の提案を行いました。

- ①希望する営業三科（遺失）の社員を、従来のような応援という形ではなく、営業二科に配属させること。
- ②サービックでの雇用を希望するJ R 東海からの出向者（65歳で専任社員退職）を雇用すること。
- ③HPの採用情報の改善（わかりやすく、見やすくする）及び採用時の給与・待遇の改善をすること。

本社は、「本社として要員のひっ迫は把握している。現場と相談して進めていく」と返答しました。

いまの営業二科の要員不足の実態は相談の段階ではありません。

直ちに営業二科の要員を確保すべきです。